

✧ 海外ニュース ✧

スペイン 2022年9月9日 El País

■ テスラを「運転中」に居眠り

Un hombre se queda dormido mientras 'conducía' su tesla

カナダの高速道路で、オートパイロットによって走行していた車両の運転者が、別の車両の同乗者にしっかり撮影されていた。実は、テスラの運転者が移動中の自動運転車で居眠りをしている様子がSNSに上げられたのは今回が初めてではない。自動運転中に食事をしたり、読書をしたり、今回のように居眠りをしているケースが見られた。確かにテスラの自動運転システムでは、緊急時のブレーキや、歩行者の探知などの技術が備わっているが、自動運転レベル2に分類され、常に運転者の注意が必要である。ドイツの法廷では、テスラなどの自動運転技術は「新米運転手の酔っ払い運転」のレベルに過ぎないという。

米国 2022年9月12日 Pittsburgh Post-Gazette

■ ペンシルベニア州の有料道路運営会社は、太陽光発電設備の設置を計画している

Pa. Turnpike plans solar facilities

ペンシルベニア有料道路は、道路の維持管理運営と会社に電力を供給することを目的とした太陽光発電所を開設する予定である。また、同社はオハイオ有料道路とユタ州立大学とも協働して、有料道路システムの一定区間を、ドライバーが運転しながら自分の車両を太陽光発電による電力で充電できるようにするとのことである。

米国 2022年9月14日 gov tech

■ フロリダ州交通局、路上規制の安全性を向上させる新たな技術を試行

Florida DOT Tries New Tech to Improve Work Zone Safety

フロリダ州交通局は one.network と提携し、高速道路における作業現場の安全性をリアルタイムで改善することを目的とした新しい技術を試験的に導入している。2023年6月までの約1年間で行われる。リアルタイムで路上規制情報を共有することでドライバーと作業員の交通安全を向上させるもので、one.network が提供する Live Link アプリを経由して車線閉鎖情報を表示するカーナビアプリ、トラック輸送アプリ等に提供を行う。州内の路上作業規制の管理者は閉鎖状況を地図上に表示し、路上規制の状況についてリアルタイムで警告を発することができる。さらに、一時的な速度制限や、特定のゾーンにいる作業員の数を表示することも可能である。

スペイン 2022年9月14日 Servimedia

■ インドラ社、コネクテッドカーに向けた高速道路の交通管理に関する画期的な指針を展開

Indra desarrolla una plataforma pionera de gestión de tráfico para autopistas conectadas

Indra 社は Cintra 社と共同で、高速道路の自動車に対して、情報インテリジェンス基盤を提供する事業の開発を行っている。従来の交通管理システムに上質な情報群を提供する準備段階の提案を実施しており、コネクテッドカーとコネクテッドカーでない自動車にリアルタイムで、未だかつてない正確さで情報を提供する解決案を提示している。ワシントンに向かう Beltway 郊外の高速道路 I-66 において展開している Cintra 計画では、動的な料金徴収システムを可能にする「managed lane」を Indra 社は実施しているが、さながらコネクテッドカーのショールームとなっている。

米国 2022年9月15日 Interesting Engineering

■ 中国、道路から35mm浮いた状態で、時速230kmで走行する磁気浮上式車両を試験的に導入

China tests maglev cars that travel at 230kph while floating 35 mm above the road

磁気浮上技術を搭載した自動車が、中国東部の江蘇省の高速道路で実験に成功したという。中国日報が報じたものである。この実験では、2.8トンの自動車が道路から35mm浮上させたところ、高速道路で衝突したり曲がったりすることなくスムーズに走行したということである。また、同日に行われた2回目のロードテストでは、高速道路約7.9kmの区間で計8台が走行し、最高時速は約230kmに達したという。磁気浮上式車両は、成都にある西南交通大学が開発し、従来の車両を改良したものである。

フランス(ドイツ) 2022年9月15日 meilleurtaux

■ ドイツ：自動運転車は最適な方法では始動しない

Allemagne : la voiture autonome ne démarre pas de la meilleure manière

長年にわたり、自動運転車はドライバーと自動車メーカーの幻想を育んできたが、先進国においても自動運転車が街角を堂々と走るという風景に出会うには程遠いだろう。自動運転車は、保険会社の見積もりもすぐには出ないことがある。実際、メルセデスの自動運転車を含め、ハンドルを完全に仮想の運転手に委ねるところまで行っていないし、特にトンネルの入口などでは人間のドライバーが運転を自分でしなければならぬ状況がある。

ドイツ 2022年9月15日 Süddeutsche Zeitung

■ 試験施工：低温化アスファルトによる作業と環境保護

Pilotversuch : Arbeits- und Umweltschutz mit kühlem Asphalt

Hochsauerland 地区のA46のセクションで、ヴェストファーレン高速道路は初めて「低温化アスファルト」を施工した。アスファルト混合物の施工温度は、通常の160℃～180℃から約140℃に低下した、と連邦アウトバーン有限会社のウェストファリア支社は発表した。温度を下げることで、建設現場での潜在的に発生する有害な湿気や煙霧への暴露が減少する。混合プラントのエネルギーを節約できることに加え、さらにCO₂排出量が削減される。

フランス(ベルギー) 2022年9月16日 Le Figaro

■ エネルギーの節約：ベルギーの高速道路が電灯を消す

Economies d' énergie : les autoroutes belges éteignent leurs lumières

ベルギーの高速道路で、中央分離帯に設置した電灯2万5千個のうち2万個を、午後10時から午前5時までの間消灯することとなった。ベルギー南部のフランス語使用地区であるワロニア地方の主要高速道路において9月19日夜間から実施して、エネルギーの節約を図るのが目的である。背景に電気料金の急騰があるといわれる。エネルギー危機という状況下で、電力消費の節約と公共目的の電気使用料金を削減するのが狙いである。ワロニア地方政府が実施を要求していた。

フランス(米国) 2022年9月18日 L'usine Digitale

■ HP、建設現場での墨出しを自動化するロボットを発表

HP dévoile un robot pour automatiser le tracé des plans sur les bâtiments en construction

HPは、建設現場での墨出しを自動化するロボットHP SitePrintを発表している。ロボットは小型軽量で、測量機器(トータルステーション)で詳細な位置を把握し、障害物を自動で回避する。タブレットで遠隔操作や設定ができ、また、クラウドベースのプラットフォームで進捗管理が可能である。

スペイン (米国) 2022年9月20日 El País

■ Areas, 米国で2億7,200万ドルの契約を締結

Areas se adjudica un contrato de 272 millones de dólares en EE UU

Areas は、ウエスト・バージニア州の高速道路で3つのサービスエリアの運営契約を締結した。契約期間は2023年から15年間で、米国東海岸の主要高速道路であることから年間3,700万車両が通行し利用する見込みである。Areasは現在、収益の80%はスペイン以外の国が得ており、同社にとって米国市場はフランスとイベリア半島に次いで3位の14%の地位を占めている。米国では、9つの空港で136カ所の店舗を運営し、10のサービスエリアを管理している。

スペイン (米国) 2022年9月22日 El Mundo Ecologico

■ バージニア州では、HOV 車両を感知する新しいシステムを採用中

Virginia usa un novedoso sistema que detecta vehículos de alta ocupación

航空機、防衛、および交通部門において技術工学の世界を牽引する会社である Indra 社は、オーストラリアの道路運営会社 Transurban 社と契約を締結し、バージニア州北部の高速道路における高速車線で HOV (= 高稼働車両) を自動感知する画期的な解決策を提示した。Indra 社の技術では、人工画像とディープラーニングを使って、リアルタイムで目立つことなく高い確率で、高速車線を走行する車両の乗員数を前のシートと後部座席を合わせて自動感知することができる。こうして、Transurban 社は、車両の乗員数が、その車両の電子装置 (トランスポンダー) が申告した乗員数より少ないときに、その車両を特定できるシステムを備えることになる。

ベルギー (欧州) 2022年9月26日 European Commission

■ 欧州において新車から排出される二酸化炭素が2020年に急減する一方で、ゼロ排出車と低排出車は3倍に伸びた

CO₂ emissions from new cars in Europe plummeted in 2020 as the share of zero- and low-emission cars tripled

EU、アイスランド、ノルウェー、および英国において、2020年に登録された新車のCO₂排出量は平均で12%、2019年に比べて減少した。欧州環境局の最終データに基づく発表である。これは、登録されたゼロ排出車と低排出車の急増によるもので、2019年の3.5%から2020年の11.6%の伸び率となっていて、EUのNew Fleet-Wide CO₂ Targetsが適用されたことが原因と見られる。新しいバンタイプの車もCO₂排出量を減少させているが、こちらは2019年に比べ2%の減少とあまり顕著ではなかった。

英国 2022年9月26日 Highways Magazine

■ AIによる運転違反の監視

AI on the lookout for driving offences

運転中に携帯電話を使用するドライバーを捕らえる、人工知能を利用したカメラシステムが試験的に導入されている。この技術は、ドライバーがシートベルトを着用しているかどうかを検知ことができ、今後2カ月間、2つの郡の特定のルートで展開される予定である。

フランス 2022年9月26日 Journal Dunet

■ 2023年2月1日から道路通行料金が年に1回の料金改定時に引き上げられる予定

Le prix des péages devrait augmenter au 1er février 2023 lors de la revalorisation annuelle des tarifs.

2023年2月1日に道路通行料金が7%から8%引き上げられる見通しだったが、政府は引き上げ幅を低く抑える予定である。毎年2月に、消費者物価に鑑みて、通行料金の引き上げが検討される。2022年8月には、5.9%

の通行料金引き上げが実施された。家計の負担が大きすぎないように、政府と道路運営会社は、2023年の2月の通行料金引き上げには歯止めをかける予定である。2022年の2月1日には、Vinci Autoroute社は、料金全体について平均2%の引き上げを行っているが、大部分の小道路においては引き上げを凍結している。

米国 2022年9月27日 Car and Driver

■ 水素燃料電池自動車：知っておくべき事柄すべて

Hydrogen Fuel-Cell Vehicles : Everything You Need to Know

水素燃料電池自動車（HFCV）は、米国の道路で15,000台走行しているという。すべてカリフォルニア州と見られる。他方で電気自動車（EV）は何百万台というレベルに達しており、主な自動車メーカーは2030年までにEVを主流にしたいという考えだが、水素燃料電池自動車（HFCV）は今のところ遅れをとっている。HFCVは確かにスムーズに動き、静かで運転しやすいなどの利点もあることや、二酸化炭素や有害排出物などもなく、ただ水蒸気を残して行くだけである。また、燃料補給時間は300マイルから400マイルを走行するのに5分だけ必要とすることなどの利点もある。一方で難しいところは、水素燃料の補充が困難なことである。10年前の計画では、カリフォルニア州で燃料補給所を現在までに100カ所設置する予定だったが、実際には約60カ所に留まっている。その他、燃料コストの問題等もある。

米国 2022年9月27日 AP NEWS

■ 州政府、高速道路充電スタンド網建設の最終承認を得る

States get final OK to build highway EV charging network

バイデン政権は、ゼロエミッション車の普及を促進する計画の一環として、州間高速道路に沿っておよそ80km（50マイル）ごとに初めての全国網としてEV充電スタンドを設置する。50州すべてが、9月末に建設を開始する最終承認を受けた。これにより約5年間で連邦資金6,800億円（50億ドル）が投入され、12万km（7万5千マイル）の高速道路に沿って充電器を設置または改良し、全体で50万台のEV充電器を目指すこととなった。なお、今月初めに33州とコロンビア特別区の計画は既に承認されており、年末までには、カリフォルニア、コロラド、フロリダ、ペンシルバニアなどの州では、既存の高速道路EVステーションが拡張・改良され、少なくとも4つの急速充電器ポートを備え、EVが約1時間で完全に充電できるようになる。

ドイツ 2022年10月1日 echo24.de

■ バーデン ヴュルテンベルク州のエネルギー プロジェクト：A81号線の太陽光発電屋根

Energie-Projekt in Baden-Württemberg : Photovoltaik-Dach über der A81

高速道路は、物の輸送に現在使用されているが、まもなく発電にも使用される可能性がある。A81号線の上に太陽光発電モジュールで覆われた鉄骨構造の屋根（大きさ10x17m、道路からの高さ約5.5m）が建設される予定である。ドイツにおける、ハイルブロンとシュトゥットガルトを結ぶ高速81号線で建設される予定である。

マレーシア 2022年10月5日 Malay Mail

■ マレーシア政府、フリーフロー料金収受システムを2025年までに導入し料金所を混雑緩和

Works Ministry : Multi-lane free flow by 2025 to reduce congestion at toll plazas

マレーシア政府の内閣は、交通渋滞を少なくするために、国内の有料道路において通行料の電子徴収システムを設置する計画を承認した。これで自動車などは、通行料を支払うために停車する必要がなくなり、料金所などの遮断バーも廃止される。マルチレーンフリーフローと呼ばれる通行料金の電子徴収システムである。